

2025年度 ニチキッズ郡山あさか保育園 自己評価総括表

地域社会における保育施設として、その運営や保育内容について、自らの保育実践を振り返り、自己評価を行いましたので、その結果を以下の通り公表いたします。

また、本自己評価の結果を踏まえ、今後も更なる専門性の向上や保育実践の改善に努め、より一層質の高い保育の実践を目指してまいります。

評価方法		
保育士等（全職員）の自己評価	評価期間	2026年1月16日（金）～1月30日（金）
	実施方法	全職員に自己評価について趣旨を説明し自己評価を実施した。
保育施設の評価	評価日	2026年2月13日（金）
	実施方法	話し合いにより職場全体で共有し、保育施設の課題を明確化し、改善策を検討した。

項目ごとの評価	
保育理念	「おもいっきり遊ぶ おもいっきり学ぶ」の保育理念の基、すくすく育つ、わくわく遊ぶ、いきいき過ごすの3つの保育目標を達成するため、こども真ん中の園づくりをしていくよう計画を立て実践した。
子どもの発達援助	前年度に続き、自治体、各種カウンセリング事業の活用・連携で子供の発達に合わせた援助方針を全職員で共有しながら進めた。また、個々に外部研修参加機会を増やし、子どもの発達援助につながる知識を深めてミーティング等で課題解決をしながら援助を続けた。
保護者に対する支援	本年度から保育室への送迎を再開したことで、実際に子ども同士の関りに触れたり、園に関わる情報を都度確認できるようになり、自然に親子の会話が増え、保育者との情報共有も円滑になった。また、感染症に対する理解も深まり、「感染しない、させない、持ち込まない」を実践できたことから、感染症拡大を最小限にすることができた。
保育を支える組織的基盤	定期的な職員会議、ミーティング、園内研修から、保育の知識、技術向上に努めた。また、自治体、嘱託医を含む外部からの保育情報参加や、社内分野別ミーティングの活用で専門性の向上を図り基盤固めに繋げた。

総評
<p>保育と食育の連携強化において、子どもたちが自発的に食育での要望を発信するようになり、その経験を家庭へ伝えるようになってきたことで、園、子ども、保護者のトライアングル形態が構築されつつあり、真の子育て支援の足掛かりの年になった。また、保護者や保活者から園の運営を直接感じていただくことで、当園への問い合わせ、入園希望が増え、地域に選ばれる園としての存在価値を高められた。今後もさらに子どもたちのウェルビーイング（Well-Being）のため、全職員で“子どもにとっての安全基地”として安心・安全な保育提供の実現に努めていく。</p>